

自然体験活動

児童たちの感性に感動!

自然教室

E&Lの自然環境プログラム

- 生物の観察
- どんぐりの植樹
- 出前教室
- 自然環境のDVD
- 安全マップ
- たんけんマップ
- 竹馬づくり
- オリエンテーリング

4月23日羽小先生の現地見学



去る4月23日、羽曳が丘幼稚園と羽曳が丘小学校の先生方27人と、E&Lスタッフ8人が合流して、今後の総合学習の打合わせを行いました。ビオトープの森・池の現地説明と、羽曳が丘たんけんマップ・ビオトープ・環境ハンドブックなどを説明しました。

後日、3年生対象のビオトープでの体験活動と、羽曳が丘小学校で自然環境の出前教室を行いました。現地で児童たちは元気いっぱいに行動し、出前教室では人類最大の課題である地球温暖化対策へ挑戦しました。先日、小学校から児童たち93人の感想文が届きました。私たちは感想文を読んで児童たちの素晴らしい感性に感動しました。

5月2日羽小児童3年生ビオトープへ

児童たちが見たビオトープ



- すごいな・・・こんなところがあったんだと思った。
- 羽曳が丘に自然がふっかつたからきもちいい。
- どんどん自然ができてほしいと思いました。
- 生き物たちがすめてうれしかった。
- どうしてあんなに大きな木があるの。
- 植物がいっぱいで私たちも元気になるんだ。
- みんながあそべるし生き物をたすける場所がよい。
- 羽曳が丘のビオトープをもっとみんなに知ってほしいよ。

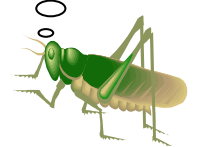


児童たちのビオトープとは?

- 自然といっしょになかよく生きること。
- ビオは生き物、ビオトープはばしょです。
- 生き物やこん虫がいっぱいあつまる場所。
- ドイツ語で自然のばしょだから自然となかよし。
- 自然がいっぱいあってみんなでまもるところ。
- 家でもビオトープのことを話しているよ。
- なぜ?ビオトープをつくらうと思ったの。
- 羽曳が丘の人みんなで守るといいよね。



あのおじさんとジャンケンに勝たないと橋を渡れないよ



自然とおじさんとなかよし

5月17日 羽小児童2年生ビオトープへ

自然が子どもたちを育てます



羽曳が丘小2年生 ビオトープのできるまでを説明

この日は晴天に恵まれ、児童たちは元気に走りまわっていた。ビオトープのことや、羽曳が丘のまちができるまでのことを説明した……むつかしかったかな?でも元気にはっきりと質問してくれました。私たちはビオトープで児童たちと接して前進的感性を実感しました。

「北海道ではあの大自然が子どもたちを育てているんだ」と言っていました。このビオトープも未来を担う子どもたちを育てています。

「ビオトープ B i o t o p」とは?

ドイツ語のB i o (生き物)とT o p (場所)の合成語で、鳥・魚・昆虫・植物が共に生きることのできる空間を保全・復元・創出した場所です。この地の住宅開発前(12年前)、このビオトープ付近には大きな森と池がありましたが、この場所に住宅や公園ができました。私たちは地域の人たちが自然と接し交流できる森と池を「創出」し「保全」しています。かつてこの地の池には「カワセミ」がいました。このカワセミが、



6月25日 羽曳が丘小3年生へ出前教室

「美しい地球 守ろう 地域の環境」

出前教室は、羽曳野の白鳥伝説・生態系のピラミッド・宇宙飛行士との無線交信・地球温暖化・トンボのフ化など多分野でしたが、児童たちは全てに反応しました。地球温暖化は、難しいかな？と思っていましたが、「地球のみどりがへっているから、ぼくたちも自然をたいせつにします」などの感想文に感動しました。

児童たちは未来へ向って前進しています

皆さんは未来へ向って前進していると思いました。93人の皆さんの感想文に感動しました。これからもがんばって前進して下さい。君たちの未来のために！うれしい感謝のことばありがとう。ビオトープのおじさんお婆さんがよろこんでいます。

自然環境の体験



映像に集中する児童たち



トンボのフ化



自然クイズ

児童たちの素晴らしい感想文です。

ヤゴのイナバウアーがわかった！

- ビオトープのおじさんやお婆さんがパソコンやいろいろなものをよういしていました。ヤゴのこと何時間もかけてくれたことすごくかんしんしました。
- ぼくは集会室に行くまでドキドキしました。ヤゴのイナバウアーがわかりました。スクリーンでいろんなことありがとうございました。
- ワシに小鳥やネズミを食べさせないと小鳥やネズミがふえます。バランスを考えないとだめなんです。
- 宇宙のことをしました。羽曳が丘小学校の人たちがテレビにでたことがとてもすごいいました。
- ビオトープのおじさんお婆さんたちがわざわざ来てくれてすごうれしかった。
- 今、メダカのことを調べているよ。おじさんたちが教えてくれたからたくさんわかったよ。
- 生き物はピラミッドの形で弱肉強食の世界だということ、ヤゴはゆっくり羽化することがわかりました。



羽を曳いて野を飛ぶ白鳥に驚いた！

- 羽曳野は白鳥がとんで「羽曳野」の名前になったことをきいてびっくりしました。
- 羽曳野市は白鳥がとんできて、まちができたことと、植物がなくなるとわたくしたちがいけないことをはじめてしました。
- 地球の温暖化は工場や車のガスがいけないことがわかりました。
- 地球のみどりがへっているからぼくも自然を大切にします。せつめいがとてもわかりやすかったです。
- お話をきいてびっくりしました。私たちが「はいきガス」や「わるい空気」をこのままだしつづけると地球がちかいうちにぜつめつしてしまうことです。
- これから地球のかんきょうと、羽曳野市のことをもっと知りたいです。4月に引っ越したばかりです。
- しらないことがいっぱいあったのに、ぜんぶ知ってうれしかったです。またおしえてほしいです。



羽曳が丘小学校先生の感想

- 児童たちはトンボのフ化とイナバウアーという言葉に反応していました。
- 「たんけんマップ」のカラー版はすごく見やすかった。今後も活用させていただきます。
- TV録画放送では宇宙との交信が良くわかりました。
- 地球温暖化は社会問題なので子どもと保護者と一緒に考えていきたいです。
- 「美しい地球 守ろう 地域の環境」のテーマでこれからも調べ学習を続けていきたいです。
- 10～11月に一歩前進した体験活動を企画しています。

E&Lスタッフの声

- 時間の配分がわからなかった。でも子どもたちの感想文がよかった。次回は紙芝居をやりませう。(堀江)
- 子ども達の感性に感動しました。次回はスタッフももっと勉強ませう。(松本)
- 「なくさないでビオトープ」・・・大人から未来の子どもへの大切な地域の遺産です。(原田)
- 子どもたちは宇宙人。その感性を受け止めるには周到なる計画と準備が必要と思ひました。(河野)
- 児童の環境や自然などの関心の深さに驚きました。難しいテーマにも心がすっと入ったようです(宮本)